



メールはいしんでも
スカウトひょうごを
よろしくね!



令和6年新年のご挨拶「みんなで学習し、人を育てよう！」 日本ボーイスカウト兵庫連盟理事長 黒田茂

本年、1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により、能登半島を中心に大きな被害が発生しております。被災されました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

被災地の安全が早急に確保され、救援、復旧活動が進むことを切に願っております。また、兵庫連盟として、被災された地域の皆様、連盟の方々に対して、今何ができるのかを考え、スマートに行動できるように、早急に取り組んで参りたいと存じます。皆様のご協力、ご支援を宜しくお願い致します。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症も落ち着きを取り戻し、国内ではコロナ前の日常に近い生活習慣となり、スカウティングも積極的に行動できるようになり、多くのスカウト・指導者が野営やハイクなどを展開されたことと存じます。一方、世界に目を向けると、第25回世界スカウトジャンボリーが8月1日から12日までの日程で「韓国・全羅北道セマングム」で開催され、兵庫連盟からスカウト72名、指導者8名、IST9名、合計：89名が参加しました。猛暑や台風もありましたが、全員無事に帰国できたことは参加指導者、IST、実行委員会、関係の方々のご支援ご協力により達成できました。ご支援賜りました皆様に、御礼申し上げますと共に感謝申し上げます。

昨年は「人間力・社会人基礎力を鍛えよう!」といったスローガンを掲げました。我々はスカウティングを通して、人間力を鍛えるプログラムプロセスの展開を行っております。そのプログラムプロセスは些細な事象を繰り返し行うことによって人間力を学んでいます。班の活動こそ、組の活動こそが、人を鍛える活動ではないでしょうか。スカウトが自発的に班や組において、皆で協力しながら、一つのことをやり遂げることにより、成長があるように考えます。

令和6年度では、我々の日常の生活環境は、SNS文化やデジタル化が進み、いわゆるICTやAIの発展により、昭和の時代に比べて、正しく活用すれば、安全・安心・便利・快適と更に進化することでしょう。また、自分で考えたり、努力して記憶したりする範囲が変わってきており、鉛筆を使い記憶したり学んだ世代は、そのやり方（風土や文化）が現在では通用しない部分もあることを理解し、新しい時代の文化や風土を学習し直す部分もあるように考えます。この新しい時代の中で兵庫連盟の文化を構築できるように、みんなで学習しましょう。

一方で「人間力、社会人基礎力」を鍛えるには、この時代の便利・快適な部分を取り除き、できるだけ便利な道具を使わず、自分達で、工夫する環境が必要と考えます。すなわち大自然の中での長期野営は人を育てるにはもっとも最適な環境と考えます。このことから、第20回兵庫連盟合同野営大会や、HHAC2024は、大自然の中で・長期野営や移動キャンプを行うことにより、大いに人間力を鍛えることができる活動と考えます。

令和6年度の重点事業である合同野営大会。この大会を是非皆様と一緒にになり、一人でも多くのスカウトが自発活動を通して、班やチームで協力して目的・目標にチャレンジし、大きな成果を発揮できますように、努力して参りたいと存じます。どうか皆様も、ご支援の程、宜しくお願い致します。


以上

ボーイスカウト講習会

- 2/18(日) 神戸地区開設
- 2/25(日) 神戸垂水地区開設
- 3/3(日) 淡路地区開設



ボーイスカウト日本連盟では、令和6年能登半島地震の募金に関する情報を発信しています。ぜひご覧ください。
リンクはこちら→



県指導者委員会HPもご覧ください! →